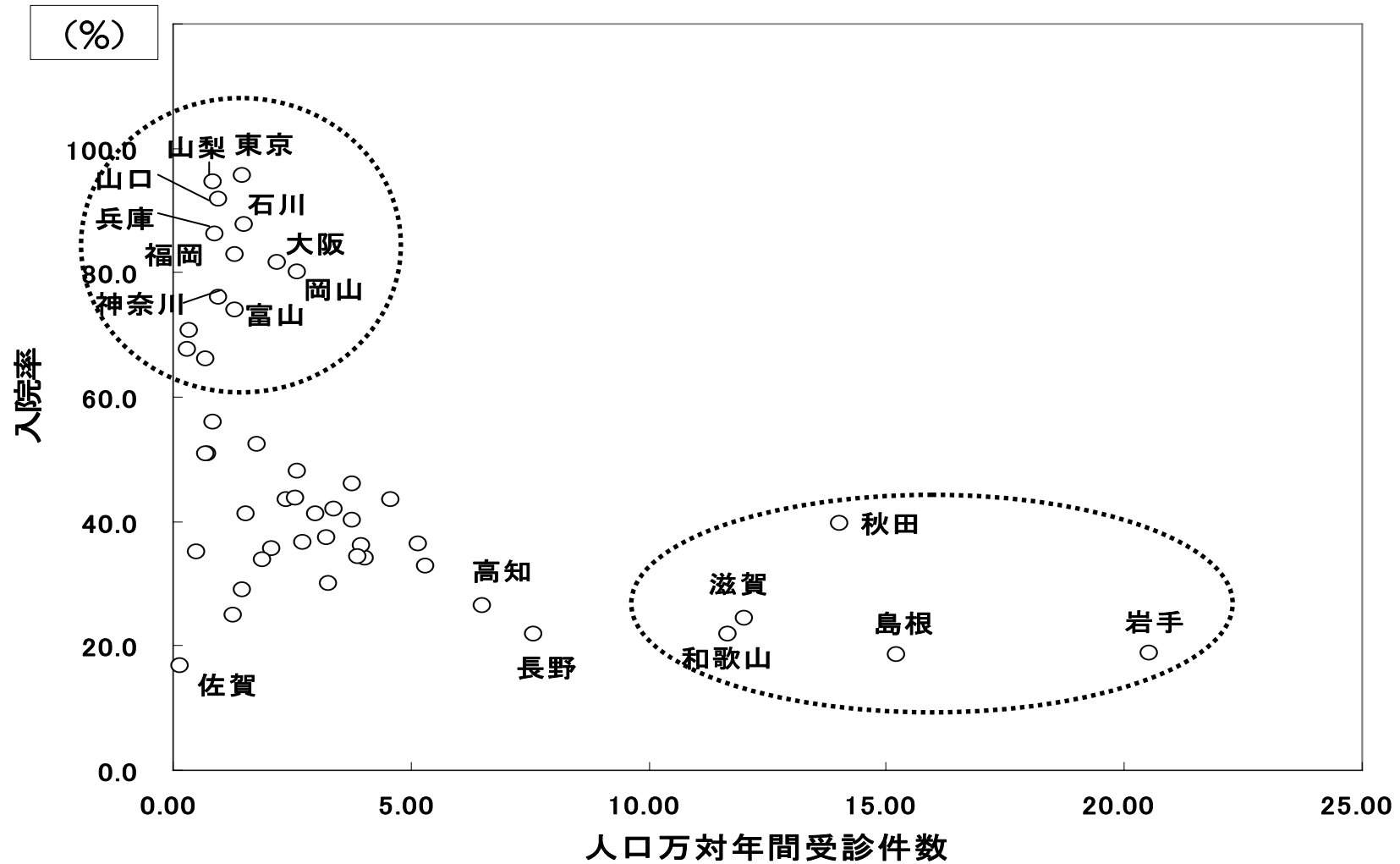


# 精神科救急医療システム全国状況 受診件数と入院件数（2006年度）



平成19年度厚生労働科学研究

「精神科救急医療、特に身体疾患や認知症疾患合併症例の対応に関する研究」

主任研究者；黒澤 尚 分担研究者；平田 豊明

# 精神科救急医療体制整備事業

平成19年度

情報センター  
・医師1人  
・PSW1人

## 精神科救急医療施設

- ・医師1人
- ・看護師1人
- ・PSW1人
- ・空床確保1床

初期救急医療施設  
・医師1人  
・看護師1人

## 精神科救急医療センター

- ・医師1人
- ・看護師2人
- ・PSW1人
- ・空床確保2床

精神科救急医療システム

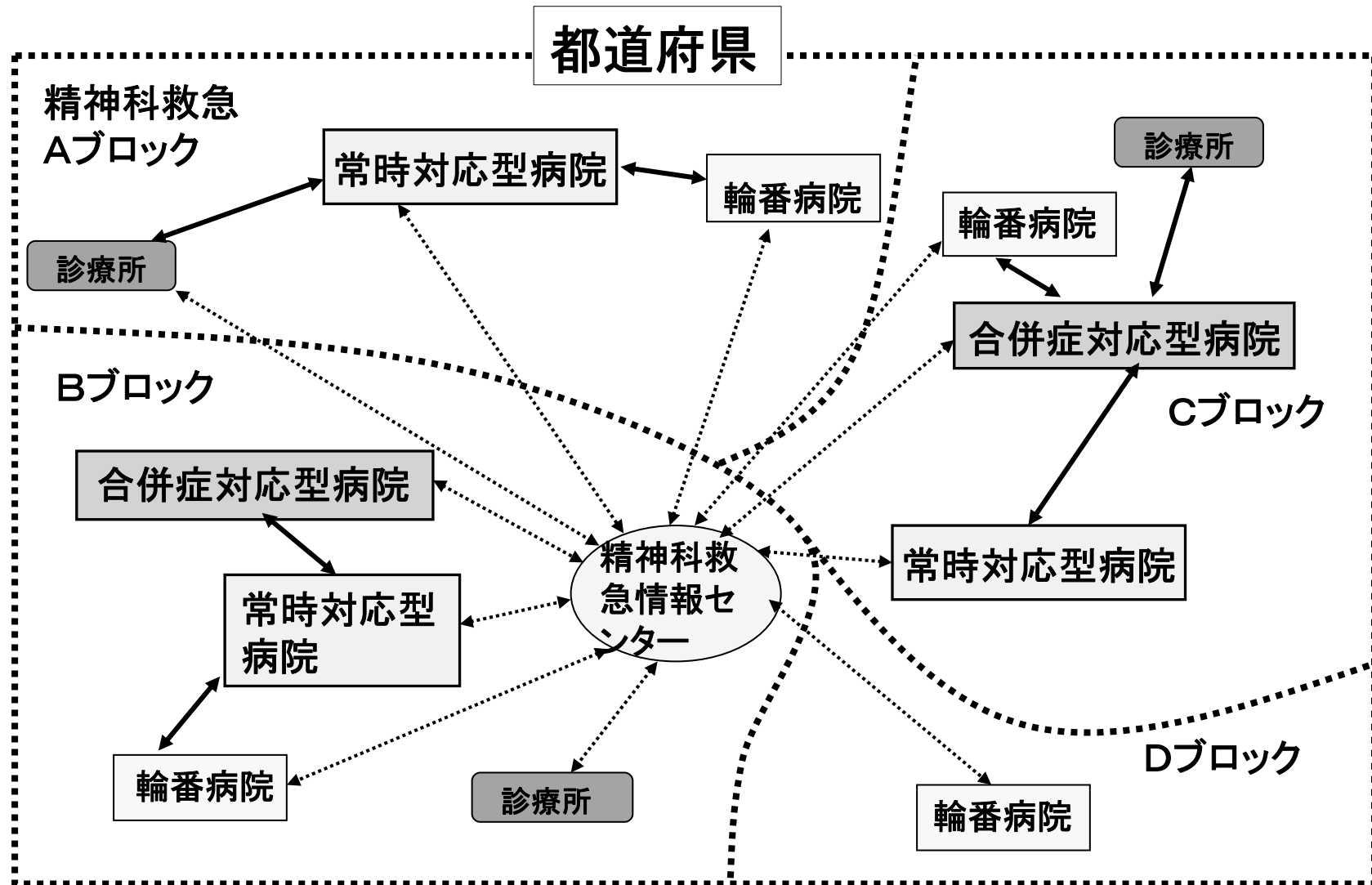
平成20年度（案）

情報センター  
・医師1人  
・PSW1人

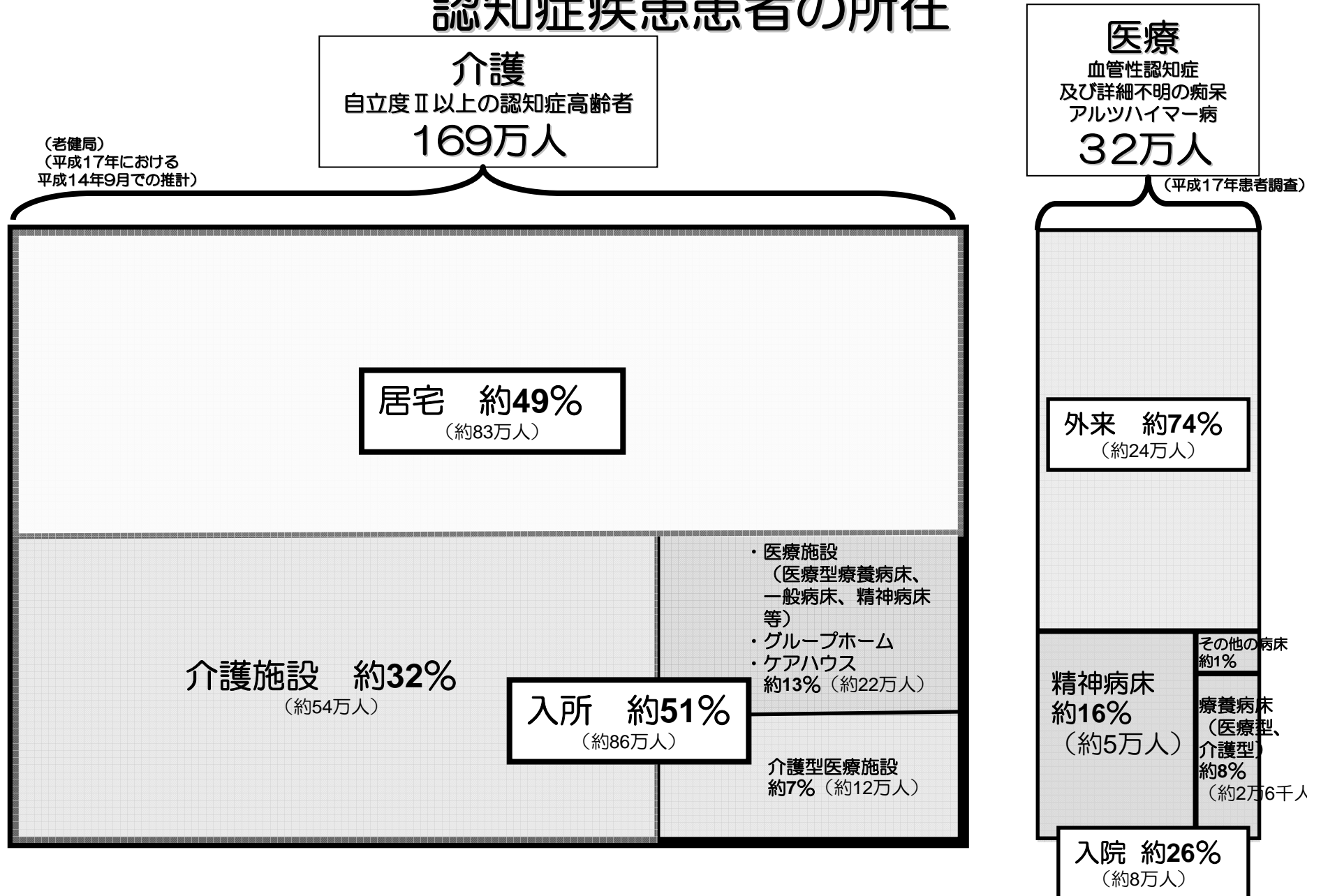
## 精神科救急医療施設

- ・輪番制病院群も含めて全ての精神科救急医療圏域に空床確保を行う精神科救急医療施設の整備
- ・24時間対応の精神科救急情報センターの身体合併症対応を含めた機能強化及び身体合併症対応施設の創設
- ・診療所に勤務する精神保健指定医の救急医療機関での診療協力体制の構築 等

# 精神科救急医療体制(平成20年度以降のイメージ)

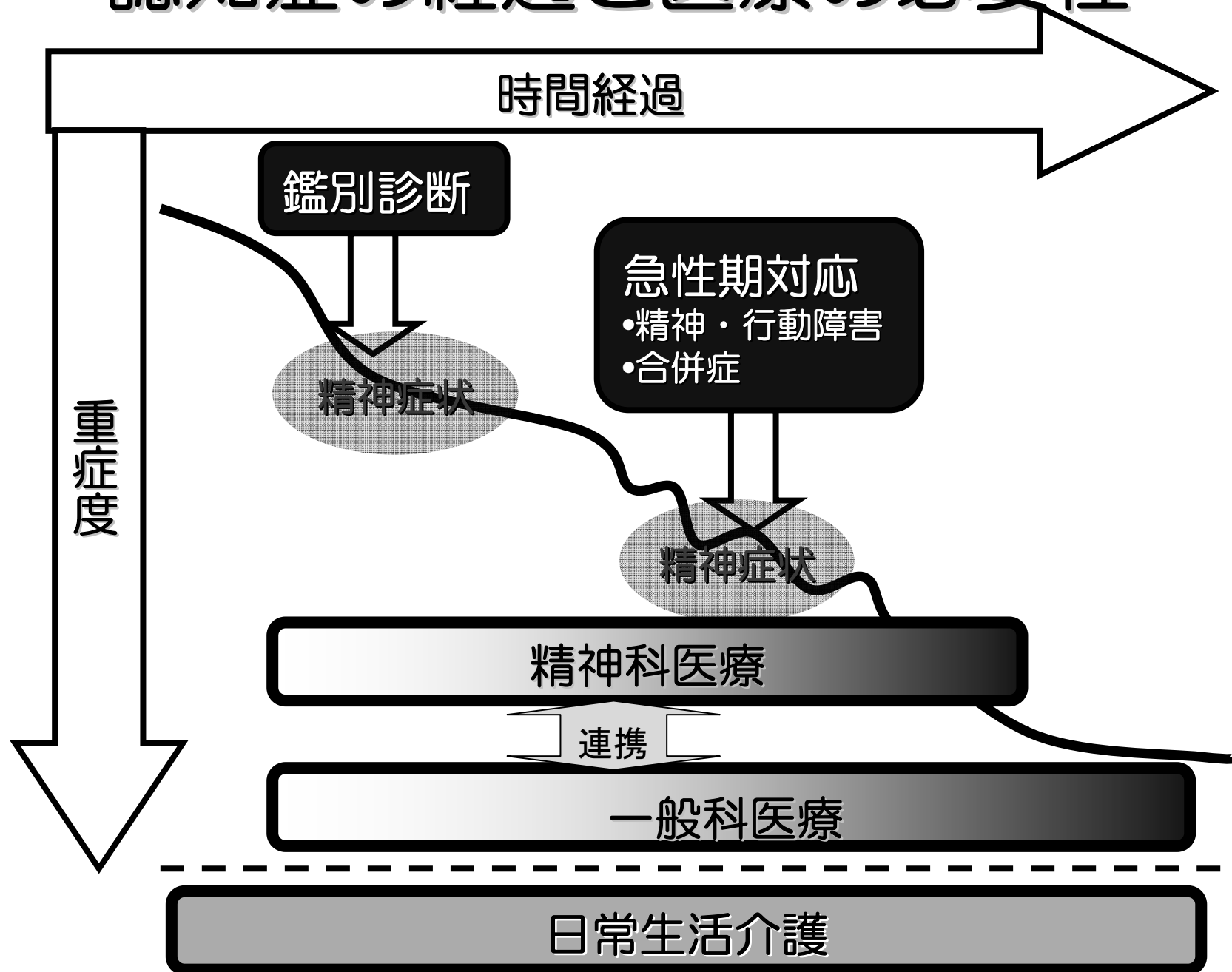


# 認知症疾患患者の所在

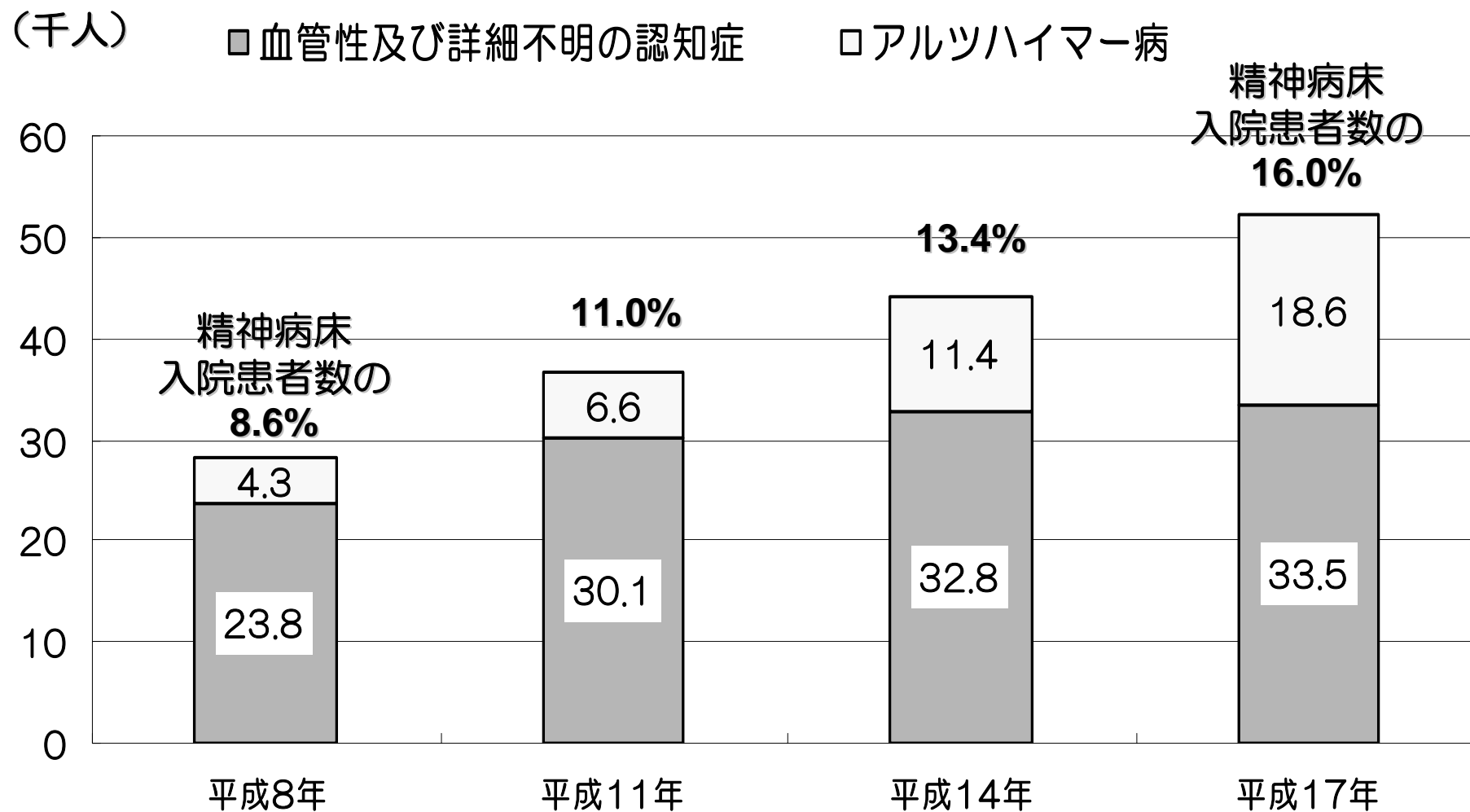


※医療施設（医療型療養病床、介護型療養病床、一般病床、精神病床）は介護と医療で重複がある。

# 認知症の経過と医療の必要性



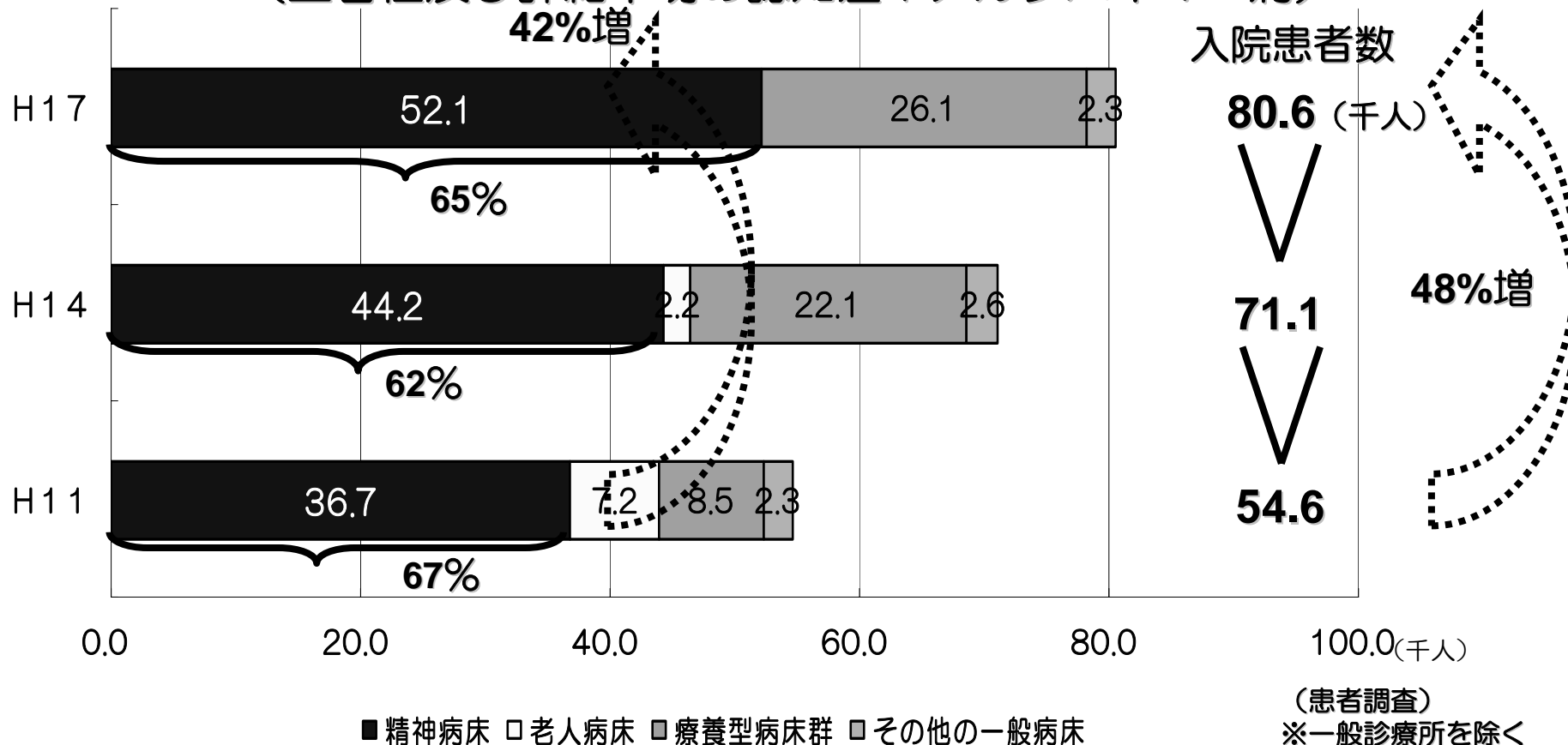
# 精神病床における認知症入院患者数の年次推移



資料：患者調査

# 認知症疾患を主傷病名とする入院患者の病床別割合の年次推移

(血管性及び詳細不明の認知症＋アルツハイマー病)



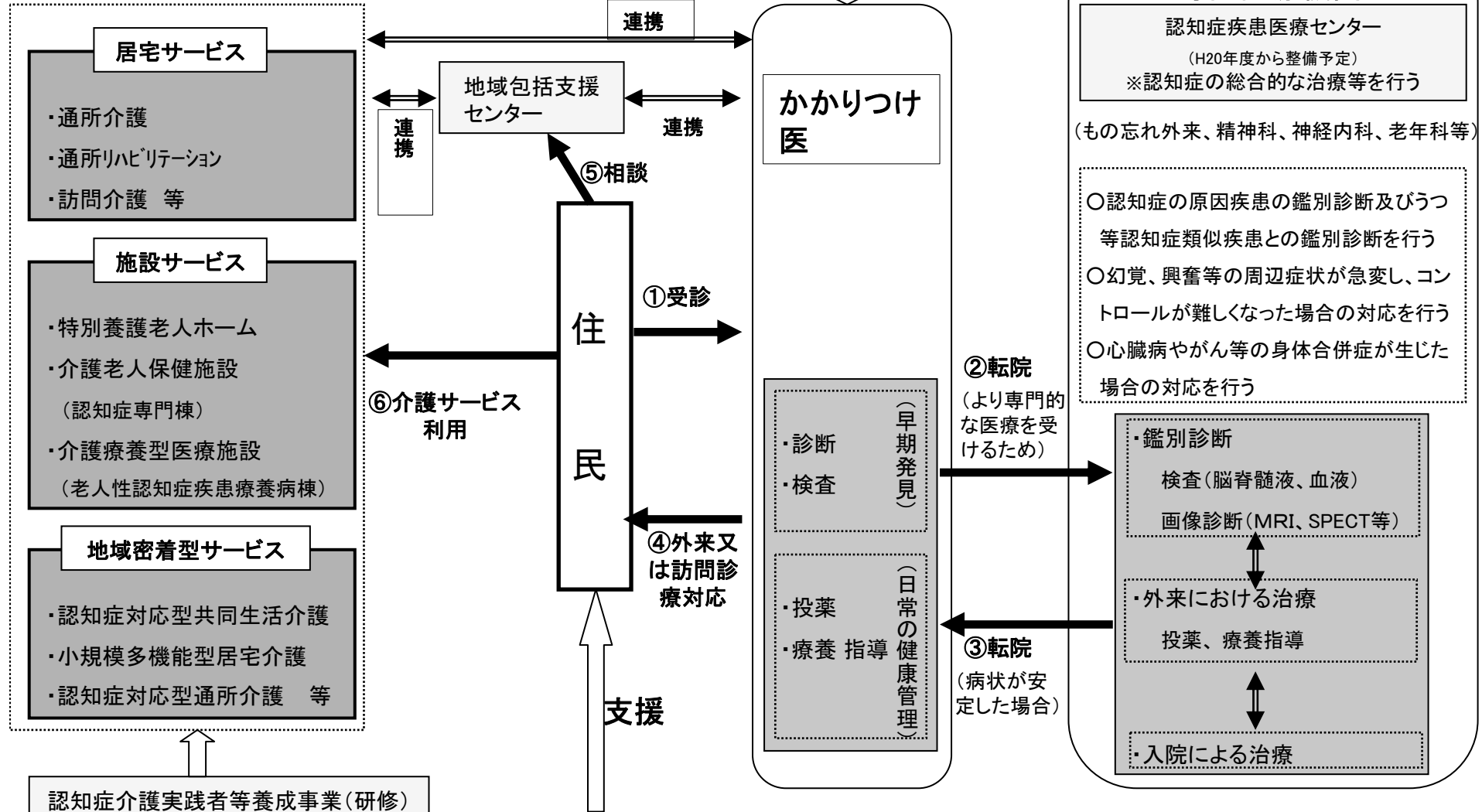
認知症疾患を主傷病名とする入院患者の約6割は  
精神病床

# 認知症高齢者を支える医療と介護の連携体制

|      |
|------|
| 診療報酬 |
| 介護報酬 |
| 事業   |

認知症高齢者に対しては、高齢者の尊厳の保持を基本とし、たとえ認知症となっても、できるだけ住み慣れた地域におけるなじみの人間関係や居住空間の中での暮らしを継続できるような対策を講じている

かかりつけ医認知症対応力向上研修  
認知症サポート医



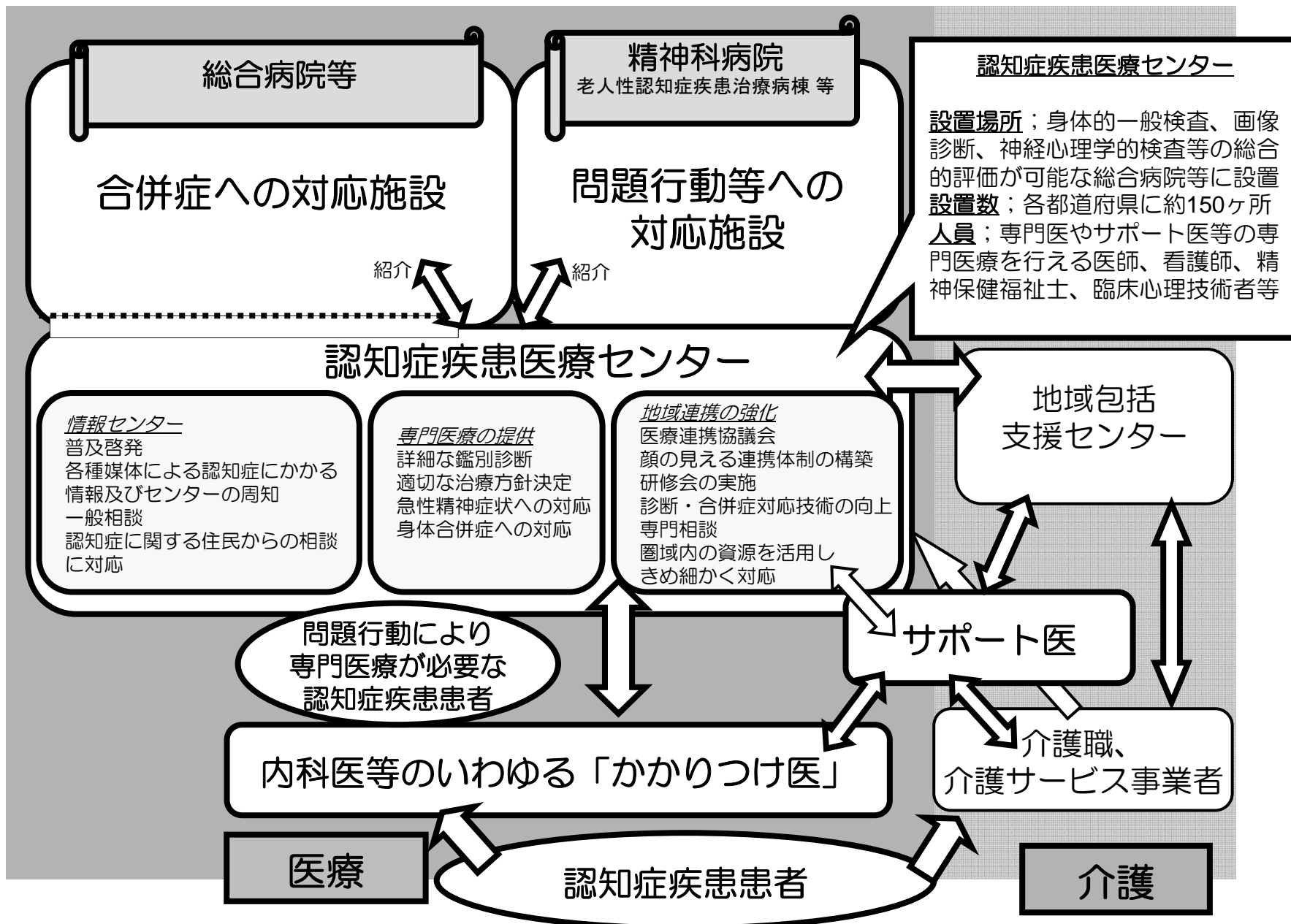
認知症介護実践者等養成事業(研修)

認知症サポーター100万人キャラバン(認知症を知り地域をつくる10か年)

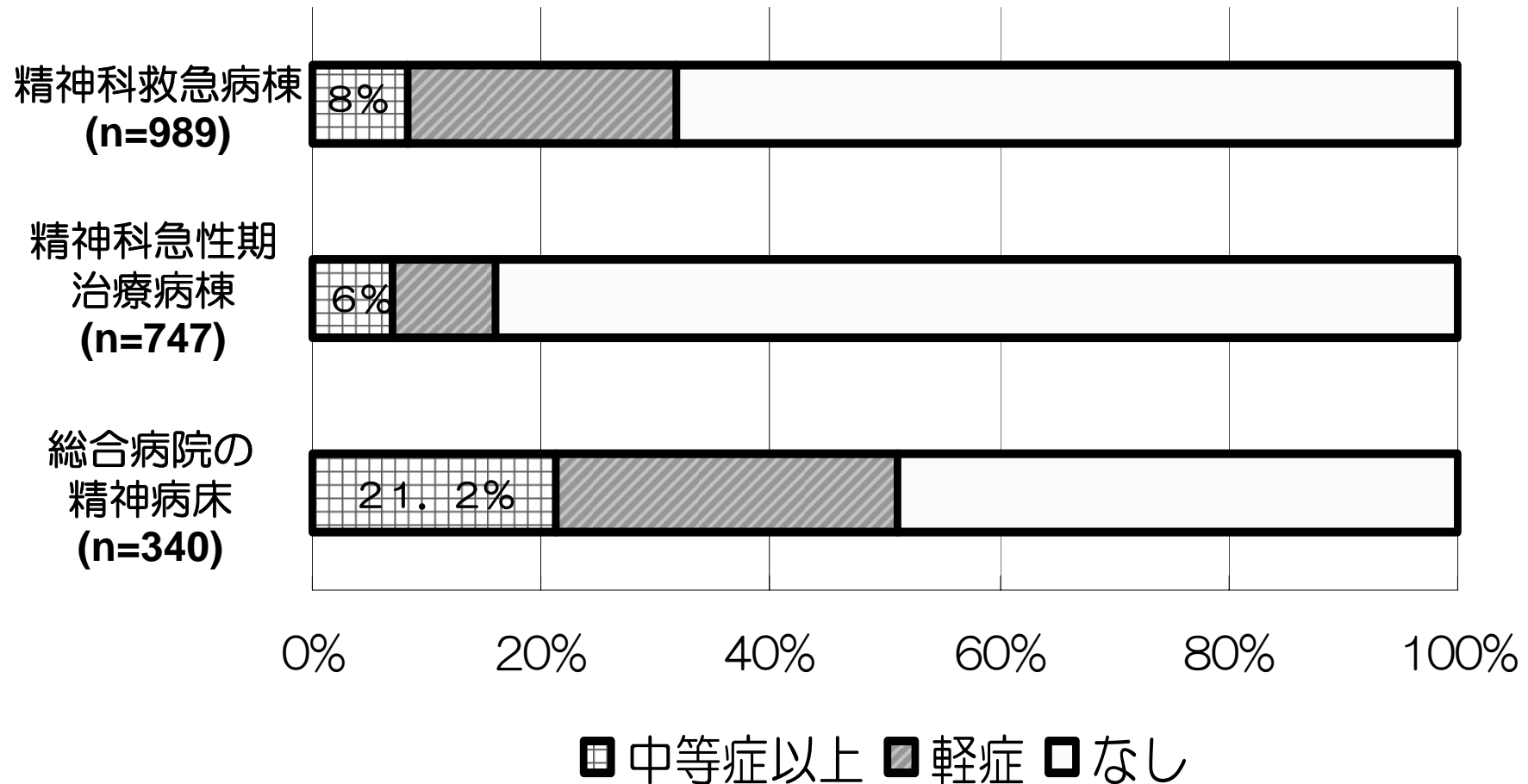
認知症地域支援体制構築等推進事業



# 認知症疾患医療センター運営事業（新規） 平成20年度予算額1.9億円

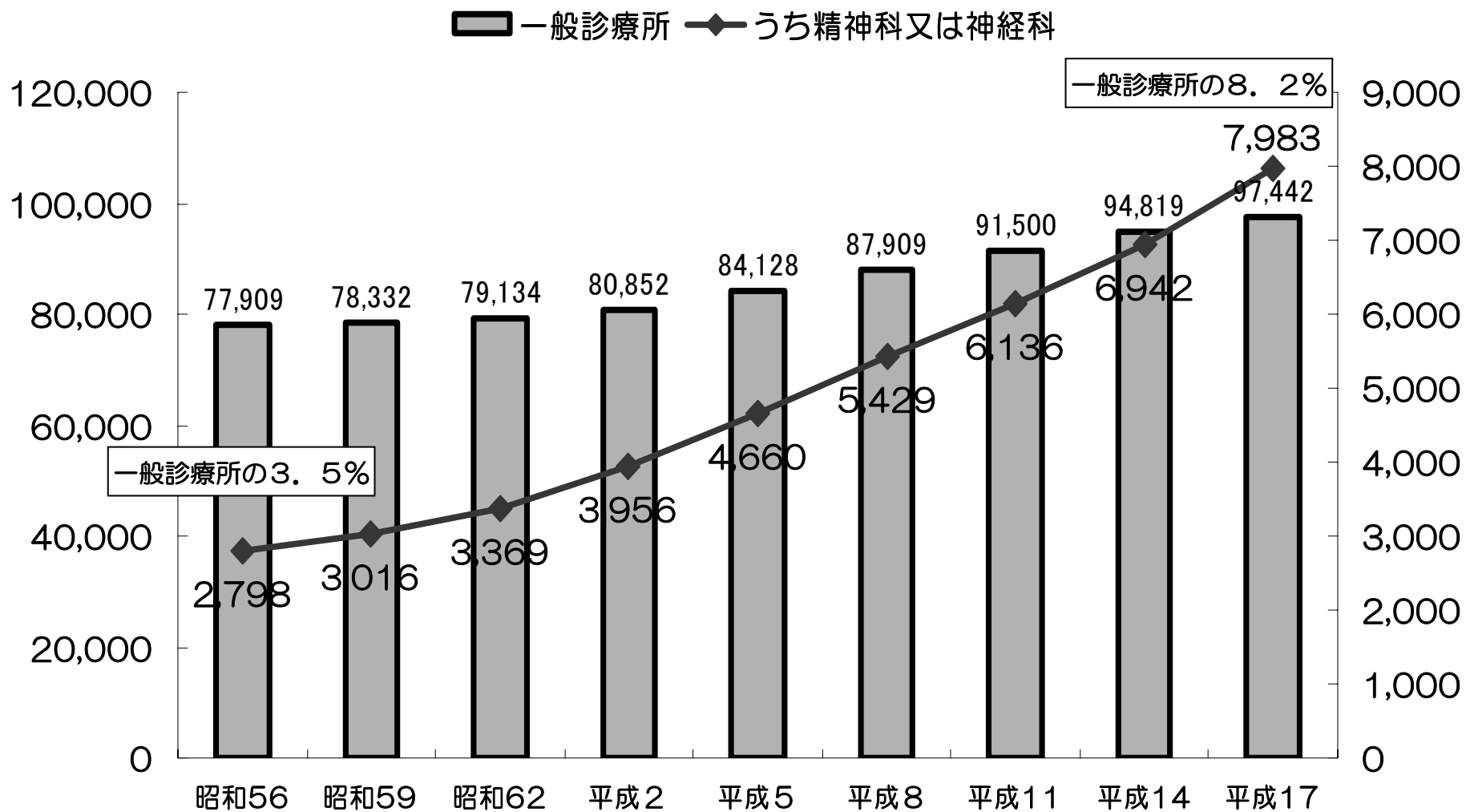


# 精神科医療施設における 身体合併症患者の割合



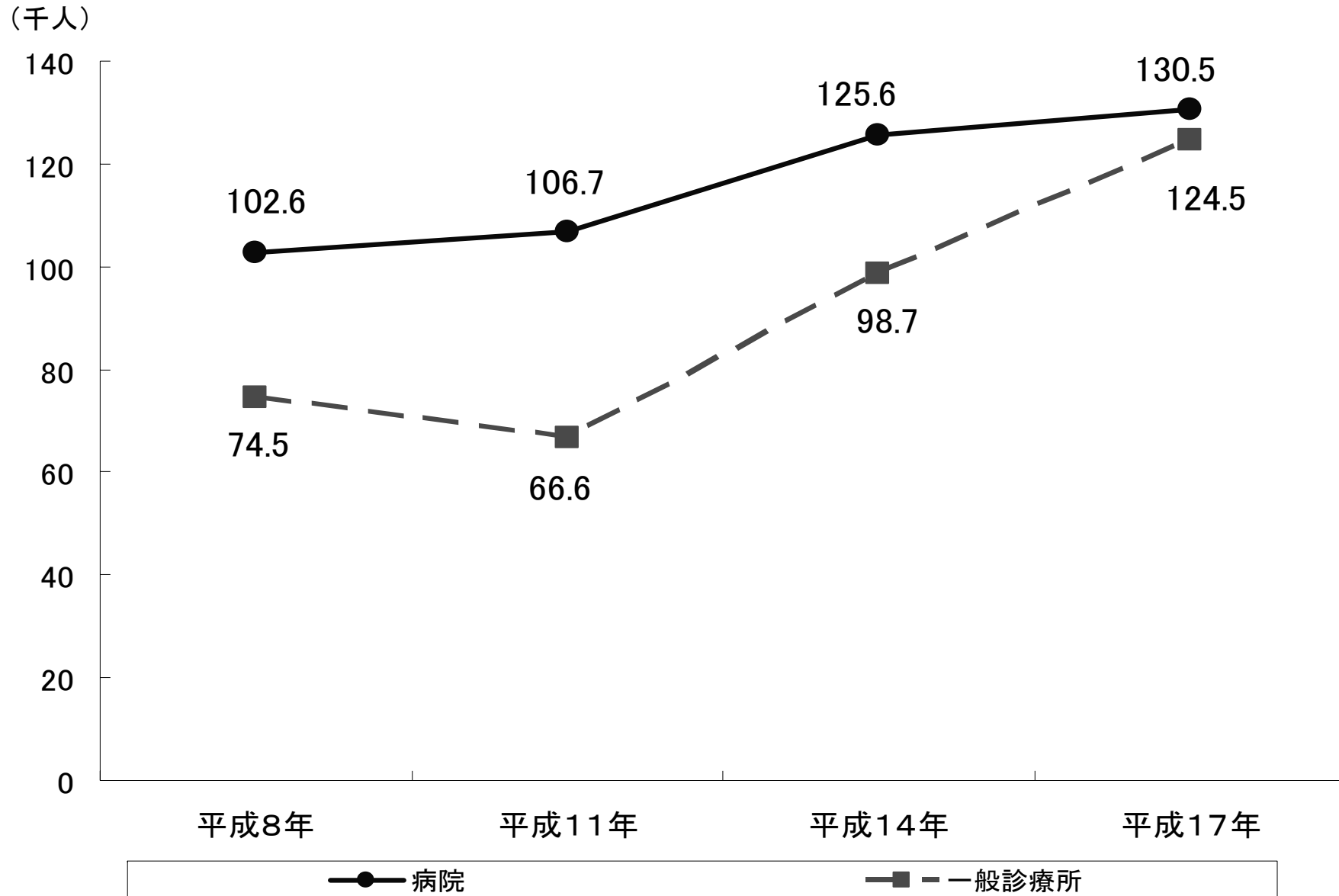
平成16~18年度厚生労働省科学研究  
「精神科病棟における患者像と医療内容に関する研究」  
主任研究者；保坂隆（総合研究報告書）

# 一般診療所数及び精神科又は神経科標榜診療所数の推移



資料：医療施設調査

## 病院・診療所別の通院(外来)患者の推移



※ 精神疾患を有する者の合計

資料:患者調査